

2020年03月23日

初回心房細動に対するバルーンアブレーション登録研究  
Balloon Ablation REgistry in Associates of Kyoto University  
for Atrial Fibrillation BREAK-AF

当院で心房細動に対するカテーテルアブレーションの治療を受けられた  
患者さんへ

◆研究の目的と概要◆

現在、バルーンアブレーション術後の急性期合併症の頻度・術後の中長期の成績を評価し、今後のさらなる治療成績向上を目指すことを目的に、心房細動に対するカテーテルアブレーションの治療を受けられた患者さんを対象として臨床研究が実施されています。

この研究は、「観察研究」と呼ばれているものです。新しい治療法を試す研究ではなく、標準的と考えられている検査・治療を行い、その結果を「観察」していくものであり、診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

◆対象となる患者さん◆

2014年7月から、2029年3月31日までの間に、初回心房細動に対してバルーンアブレーションを受けた患者さん

◆提供される情報◆

診療録（カルテ）等からの、手術記録・治療経過、治療前後の各種検査データ

◆研究方法◆

上記情報を、患者さんの氏名や個人情報などがわからないようにしたうえで、下記機関に対し電子的配信にて提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

京都大学医学部附属病院の 静田 聡 が研究主体となって実施しています。他、  
神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科（部長 古川 裕）  
小倉記念病院 循環器内科（主任部長 安藤 献児）

- 
- \* 患者さん個人が特定されるような情報は提供いたしません。
  - \* この研究は、研究主体の倫理委員会の承認を得て行われています。
  - \* この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報等の提供についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

循環器内科 提供責任者 田坂 浩嗣

TEL： 086-422-0210（代表）、 FAX： 086-421-3424（代表）

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）（★を@に変換して使用下さい。）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明